

7月 さつき園だより

平成 23 年 7 月

さつき幼稚園 理事長 萩谷雅一

さつきまつりを終えて

「わっしょい わっしょい」とこども達の元気な声が梅雨空に響き渡り、園児みこしが元気一杯町内を練り歩いて、今年のおまつりを無事終えることができました。

このおまつりは回数を重ねて今年で32回目を迎える1学期最大の行事で、こどもたちもとても楽しみにしてくれています。スケジュール上の都合もあり、7月の第一土曜日と梅雨の季節を開催時期としているため、毎年お天気には心配させられます。

昨年は大雨の中、神事はホールで行うことになり、みこしも外で担ぐことができず、不完全燃焼に終わってしまいました。今年も前日は雨、当日も雨模様との天気予報を前に、保護者から「理事長が雨男なのとちがうのー？」といわれ、内心ヒヤヒヤものでした。でも、まつり当日雨は一滴も降らず、陽も照らずと絶好のまつり日和となり、午後のお楽しみ会まで皆で目一杯楽しむことができ本当に良かったです。

翌週の月曜日にはプールを組み立て、プール保育もスタートし、いよいよ夏本番の到来です。暑さに負けず、何でも食べて丈夫な体を作り、健康にすごしたいものです。

講演会

先日、ピアニスト辻井伸行氏のお母さんの講演を聞く機会がありました。伸行氏は生後まもなく全盲であることがわかり、絶望と不安の中で手探りの子育てがスタートしました。

生後8ヶ月経って伸行氏の音楽の才能を見出し、プロの国際的ピアニストへの道を二人三脚で歩んだとのことでした。子育てでは、「良いところを見つけほめる」「否定的な言葉を言わない」「こどもに対しても上から目線でものをいわない」をモットーにされたそうです。このポジティブな子育て法が、伸行氏の音楽的才能の開花に結びついたのでと思います。

「こども達にやる気を出させ、自己肯定感をもたせる。そして自信をもたせる」ことが子育てのポイントだなと改めて感じた次第です。勿論、いつも順調に事が運ぶわけではありません。うまくいかない時も、焦らず、長い目でみてステップバイステップでやっていきましょう。